

大谷
井上

手入れ
お仕立
XXF
平市新川町 TEL 422

三和新報

THE SANWASHIMPO
オ1302号 昭和29年6月17日第三種郵便物認可

日刊 日曜・祝祭日を除く 1ヶ月販売料 80円

8月12日
(火曜日)

発行所
三和新報社
平市田町
電話 1053

腸炎 下痢 食中毒に
サルファジン

10錠 160円
20錠 300円

KK新谷薬品
平市新川町 電1136

旧盆前にソグレン隊狩り 平菊地ら五人逮捕、七人取調べへ

監禁して殴つておどかす

旧盆を前に常磐地区各署では三時を期して一斉に街のクレン隊狩りを行った。

この日、平署では武装警官十人と捜査課員を勤務、市内三方所を急襲、

わざわざ五人を逮捕すると同時に七人を注意頭頭で取調べた。

△平市田町青年隊福島県の疑いもある追及している。

△平市櫛町商店久(三)市

田町の某商店経営者が飲食代の

田町の某商店絏営者が飲食代の

謝恩開店一周年記念

16日
まで

東京より有名人が来平 当店自慢オールダンサーの
ヌードショーと**海浜スタイル**
 憧ましき一夜を ごたんのう下さい

☆尚当日は特別サービスとして
 ビールお通付 180円 ジンフィズ 150円
 酒 80円 コクテル150円より
 ハイボール 70円 ストレート 40円

ご来店のお客様方に粗品を進呈致します

キャバレー
モンブラン

平市白銀町(世界館前)

平競輪

(8月)

後節 15(金) 16(土) 17(日)

場外賣場 大町・郡山・若松・福島 発走12時

芳醇一盞長百葉 暑中お伺い申上げます

お中元・ご贈答には

東洋酒販株式會社

平市禪宜町 TEL(平) 1359・1907

登化されました。これにて「竹」

バハラ **アマゾン** **ヘイ** **ゲン**

バ抜けた痛快さ！息づまるアクションの連続！

暑さを吹きとはして西部活劇の醍醐味を満喫させる

RKO豪快巨篇!!

バーバラ・スタンウィック
ロナルド・リーガン

アラン・ドワン
ヘネティク・ボジャウス

ブラックフート・インディアンの襲来！
武器密輸商のあくなき無法と暴力に
女だてらに拳銃をぶっ放す鉄火の女牧場主!!

総天然色
RKOスコープ
KO-SCOPE

シネマスコープ
總天然色

ざまし迫力の
戦争映画巨篇!!

今は死ぬ時でない
12日より堂々公開!!

お盆随一の活劇巨篇

ひかり座



近代文学の女性たち

73

「のんき眼鏡」 の芳江 (上)

志賀 積善

私小説家である尾崎一雄は、明治三十一年神奈川県生まれです。昭和初年アーティア、文豪時代に作家として出発したのですが、昭和八年に「戀鏡」などの作品を次々と発表しました。これらの作品を一巻にまとめて「戀鏡」が昭和十一年後期の芥川賞に推薦されました。

以下二連の作品が並んでよい作家として成立してお

り、作者の人生に対する認識の「戀鏡」は島崎監督、松任

了。これらは、この人生に対する誠実な態度が作品全体に

現れてゐるのです。

主人公の妻先に、妻の芳江が何

か光るものを見つけていました。

入歯の金冠などを思つて、私は

すつかり眼がさめ、おもづく起

きあがるところまでが止めに

します。そしてその隣、そん

なにして当分治せるのではないか

じやないか」と語り合をしてみ

せました。ところが芳江は独言

で、寝起きで口述した映

画化されました。これに「竹

夫人」「長い井戸」「なめくじ

丁」「虫のいるいたなどの短篇

があるのですが、彼の作品は單なる

苦惱の表白といふより、そこには

一種の法悦境があります。それで

は「戀鏡」について見てみま

しよ。

ある朝のこと、まだ夢いつの

うちに、妻の芳江が何

か光るものを見つけていました。

入歯の金冠などを思つて、私は

すつかり眼がさめ、おもづく起

きあがるところまでが止めに

します。そしてその隣、そん

なにして当分治せるのではないか

じやないか」と語り合をしてみ

せました。ところが芳江は独言

で、寝起きで口述した映

画化されました。これに「竹

夫人」「長い井戸」「なめくじ

丁」「虫のいるいたなどの短篇

があるのですが、彼の作品は單なる

苦惱の表白といふより、そこには

一種の法悦境があります。それで

は「戀鏡」について見てみま

しよ。

ある朝のこと、まだ夢いつの

うちに、妻の芳江が何

か光るものを見つけていました。

入歯の金冠などを思つて、私は

すつかり眼がさめ、おもづく起

きあがるところまでが止めに

します。そしてその隣、そん

なにして当分治せるのではないか

じやないか」と語り合をしてみ

せました。ところが芳江は独言

で、寝起きで口述した映

画化されました。これに「竹

夫人」「長い井戸」「なめくじ

丁」「虫のいるいたなどの短篇

があるのですが、彼の作品は單なる

苦惱の表白といふより、そこには

一種の法悦境があります。それで

は「戀鏡」について見てみま

しよ。

ある朝のこと、まだ夢いつの

うちに、妻の芳江が何

か光るものを見つけていました。

入歯の金冠などを思つて、私は

すつかり眼がさめ、おもづく起

きあがるところまでが止めに

します。そしてその隣、そん

なにして当分治せるのではないか

じやないか」と語り合をしてみ

せました。ところが芳江は独言

で、寝起きで口述した映

画化されました。これに「竹

夫人」「長い井戸」「なめくじ

丁」「虫のいるいたなどの短篇

があるのですが、彼の作品は單なる

苦惱の表白といふより、そこには

一種の法悦境があります。それで

は「戀鏡」について見てみま

しよ。

ある朝のこと、まだ夢いつの

うちに、妻の芳江が何

か光るものを見つけていました。

入歯の金冠などを思つて、私は

すつかり眼がさめ、おもづく起

きあがるところまでが止めに

します。そしてその隣、そん

なにして当分治せるのではないか

じやないか」と語り合をしてみ

せました。ところが芳江は独言

で、寝起きで口述した映

画化されました。これに「竹

夫人」「長い井戸」「なめくじ

丁」「虫のいるいたなどの短篇

があるのですが、彼の作品は單なる

苦惱の表白といふより、そこには

一種の法悦境があります。それで

は「戀鏡」について見てみま

しよ。

ある朝のこと、まだ夢いつの

うちに、妻の芳江が何

か光るものを見つけていました。

入歯の金冠などを思つて、私は

すつかり眼がさめ、おもづく起

きあがるところまでが止めに

します。そしてその隣、そん

なにして当分治せるのではないか

じやないか」と語り合をしてみ

せました。ところが芳江は独言

で、寝起きで口述した映

画化されました。これに「竹

夫人」「長い井戸」「なめくじ

丁」「虫のいるいたなどの短篇

があるのですが、彼の作品は單なる

苦惱の表白といふより、そこには

一種の法悦境があります。それで

は「戀鏡」について見てみま

しよ。

ある朝のこと、まだ夢いつの

うちに、妻の芳江が何

か光るものを見つけていました。

入歯の金冠などを思つて、私は

すつかり眼がさめ、おもづく起

きあがるところまでが止めに

します。そしてその隣、そん

なにして当分治せるのではないか

じやないか」と語り合をしてみ

せました。ところが芳江は独言

で、寝起きで口述した映

画化されました。これに「竹

夫人」「長い井戸」「なめくじ

丁」「虫のいるいたなどの短篇

があるのですが、彼の作品は單なる

苦惱の表白といふより、そこには

一種の法悦境があります。それで

は「戀鏡」について見てみま

しよ。

ある朝のこと、まだ夢いつの

うちに、妻の芳江が何

か光るものを見つけていました。

入歯の金冠などを思つて、私は

すつかり眼がさめ、おもづく起

きあがるところまでが止めに

します。そしてその隣、そん

なにして当分治せるのではないか

じやないか」と語り合をしてみ

せました。ところが芳江は独言

で、寝起きで口述した映

画化されました。これに「竹

夫人」「長い井戸」「なめくじ

丁」「虫のいるいたなどの短篇

があるのですが、彼の作品は單なる

苦惱の表白といふより、そこには

一種の法悦境があります。それで

は「戀鏡」について見てみま

しよ。

ある朝のこと、まだ夢いつの

うちに、妻の芳江が何

か光るものを見つけていました。

入歯の金冠などを思つて、私は

すつかり眼がさめ、おもづく起

きあがるところまでが止めに

します。そしてその隣、そん

なにして当分治せるのではないか

じやないか」と語り合をしてみ

せました。ところが芳江は独言

で、寝起きで口述した映

画化されました。これに「竹

夫人」「長い井戸」「なめくじ

